

米

米（全袋検査を含む）の検査結果の推移

検査期間	検査点数	基準値 超過点数	超過割合
~2011年産	26,464	592	2.2%
2012年産	約1,037万	84	0.0008%
2013年産	約1,104万	28	0.0003%
2014年産	約1,102万	2	0.00002%
2015年産	約1,050万	0	0%
2016年産	約1,027万	0	0%
2017年産	約998万	0	0%
2018年産	約925万	0	0%
2019年産	約949万	0	0%
2020年産 (12月末日現在)	約30万	0	0%

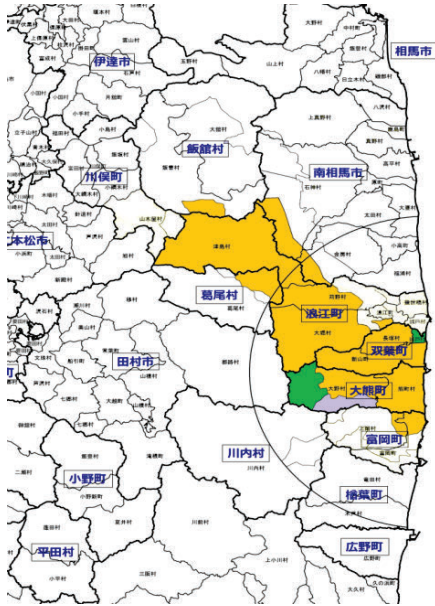
※集計対象：食品中の放射性物質に関する「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」において、検査対象自治体となっている17都県

農産物に含まれる放射性セシウム濃度の検査結果（農林水産省）、食品中の放射性物質の検査結果について（厚生労働省）より作成

米

2020年産米の作付制限等の対象区域

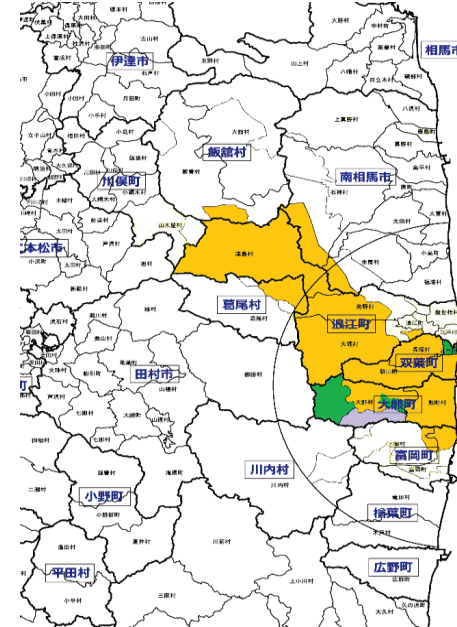
2019年産米



拡大



2020年産米



- 作付制限**
作付・営農は不可。
- 農地保全・試験栽培**
除染後農地の保安全管理や市町村の管理の下で試験栽培を実施。
- 作付再開準備**
管理計画を策定し、作付再開に向けた実証栽培等を実施。
- 全量生産出荷管理**
管理計画を策定し、全てのほ場で吸収抑制対策を実施、もれなく検査（全量管理・全袋検査）し、順次出荷。
- 福島第一原子力発電所**

区域	2020年産米	2019年産米
作付制限	1,950ha	2,150ha
農地保全・試験栽培	300ha	100ha
作付再開準備	200ha	200ha
全量生産出荷管理	0ha	0ha
計	2,450ha	2,450ha

農林水産省「令和2年産米の作付制限等の対象地域」より作成

米

福島県における米の全袋検査

福島県では、検査ガイドラインに基づく検査とは別に、2012年産米から県内全域で全袋検査を実施。なお、2020年産米から旧避難指示区域等※を除き、全袋検査からモニタリング（抽出）検査に移行。

※旧避難指示区域等：田村市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村及び川俣町（旧山木屋村）

生産者バーコード



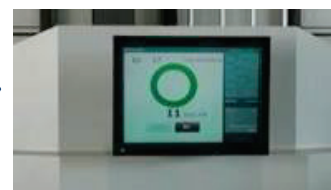
生産者： 一二三四五六七八
識別番号： 1122-334-4556-67788



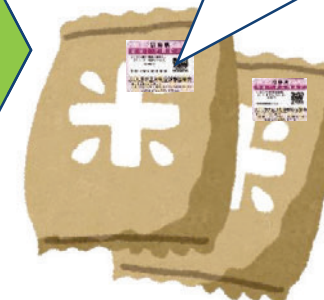
※玄米袋



※写真はイメージです。



検査済みラベル（玄米用）



全ての米袋に
生産者バーコードを
貼り、検査場に
持ち込む

※福島県のホームページ等に基づき作成。

ベルトコンベア式検査器で
バーコードを読み取り、
放射性物質を検査

放射性物質が基準
値以下のみ合格

合格した玄米に検査済
ラベルを貼る

↓
QRコードで検査結果を確認可能
「ふくしまの恵み安全対策協議会」
[https://fukumegu.org/ok/contents
V2/kome_summary_2.html](https://fukumegu.org/ok/contents/V2/kome_summary_2.html)